

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
令和4年度 理事会・総会

1. 日 時 令和5年3月3日（金曜日）
理事会 午前11時
令和5年3月10日（金曜日）
総会 書面
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和4年度 事業報告および決算報告の件
① 令和4年度 事業報告書
② 令和4年度 活動計算書
- (2) 第2号議案 令和5年度 事業計画および活動予算の件
① 令和5年度 事業計画書（案）
② 令和5年度 活動予算書（案）
- (3) 第3号議案 理事および監事選任の件



市村自然塾九州

令和4年度 事業報告書

開塾までの経緯

令和4年度は子供たちの健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、3月6日にリモートによる入塾説明会、3月20日(男子)・27日(女子)にWEBミーティングおよび4月3日(男子)・10日(女子)からの第1ステージに向けての準備から開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、当法人を設立した平成14年(2002年)の9月に完成し、主要支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様から無償でお借りしており、平成22年(2010年)・平成29年(2017年)・令和3年(2020年)に改修工事を実施していただきました。
また、塾舎のある用地については平成14年(2002年)9月から鳥栖市様より無償でお借りしております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地3ヶ所(約3,200㎡)を水田と畑として活用し、継続して米や野菜の農作物を作っています。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤5名(うち企業からの派遣1名)、非常勤2名を確保し、カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和4年度の塾生募集については、令和3年9月より鳥栖市報等で取り上げていただくと共に、福岡、佐賀県内の教育委員会を通じ募集を行いました。ただ、コロナ感染の影響で昨年と同じく人数を減らした募集としました。(1チーム6名 3チームの18名)
また、コロナによりステージ回数が減少し、体験学習に変更した参加者についてはやり残しが多いことから、本人の希望があれば、再入塾を認めることとしました。
・入塾生 男子18名(小学生17名、中学生1名)(福岡県9名、佐賀県9名)
女子19名(小学生14名、中学生5名)(福岡県12名、佐賀県7名)
5. 運営資金については、法人・個人の正会員・賛助会員のご協力による会費5,385千円および株式会社リコー様などからの寄付金25,629千円に、雑収入86千円を合わせた合計31,100千円を運営資金といたしました。

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	5,214,000 円
	②賛助会員(法人・個人)	171,500 円
	計	<u>5,385,500 円</u>
(2) 寄付金	①株式会社リコー 様	10,000,000 円
	②コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様	4,500,000 円
	③三愛オブリ株式会社 様	3,000,000 円
	④ふるさと納税	2,831,400 円
	⑤公益財団法人 市村清新技術財団 様	2,500,000 円
	⑥公益財団法人 金子財団 様	1,321,500 円
	⑦その他	1,476,000 円
	計	<u>25,628,900 円</u>
(3) 雑収入	計	<u>86,077 円</u>

自然塾活動の概況

1. 全体概要

コロナ感染予防のため入塾式は実施せず、令和4年3月6日にリモートによる事前説明を午前、午後の2回に分け行いました。

また、第1ステージ前の3月20日(男子)・27日(女子)にリモートによるオープニングミーティングを開催し、自己紹介・役割紹介・施設および畑、水田の紹介など、活動に必要な基本的な情報の発信と情報共有を行い塾活動を開始しました。しかし、コロナ感染の拡大により男子ステージの4回、女子は3回を感染防止のため中止とし、加えて台風接近により男子ステージ1回の活動の中止を余儀なくされました。

ただ、令和2年度から中止となっていた「宿泊ステージ」「泥んこ運動会」「キャンドルサービス」「大山祇ライトアップ時の合唱」などを復活させ、コロナ禍前の本来の活動内容に近いプログラムが実施できたことは、塾の運営面では次年度に向けての明るい兆しでもありました。

2. 農業体験活動

農業体験活動では、塾生がチームメンバーと協力しながら約20種類の農作物を自らの手で育てる計画でしたが、後作の植え付けが活動中止の時期と重なったため十分な活動には至りませんでした。

しかし、「困難なことに立ち向かってやり通すこと」、「生き物への興味・関心を持つこと」を体得し、季節の変化に応じた様々な農作業を体験してもらいました。

3. 自然体験活動

自然体験活動では、ヤマメの放流、田植え前の泥んこ運動会、大木川でのリバートレッキングなどを実施し、自然の仕組みを理解させ、花や風景など美しいものを見て感動できる感性を育てました。

4. 共同生活

共同生活活動では、1泊2日の宿泊ステージを5回計画していましたが、コロナの影響で3回の実施に留まりました。しかし、身の周りの整理整頓や共同場所の清掃、農作業道具の準備と片付け、羽釜による直火炊きの炊飯といった日常生活で経験できないことを数多く体験してもらいました。また、河内地区の自然に触れる地域探索、萬歳寺での坐禅も実施しました。

塾生には、割り当てられた仕事を何度も失敗を繰り返しながらできるようになるまでやり続け、仲間と協力して成し遂げて得られる達成感を体験してもらいました。

5. 安全対策

安全対策については、自然塾がある河内地区は市内の中心地から10kmほど離れており、救急車の到着には最短でも15分ほどかかることから、活動がスタートする前の2月にスタッフ全員が救急救命講習を受講し、AEDを使用した救急救命が施せるスキルを習得しました。

また、鳥栖市にある医療法人清明会「やよいがおか鹿毛病院」から看護師を派遣してもらい、ステージ中の塾生の体調管理や応急処置を行い、緊急時の対応も病院と連携して行いました。

6. 保護者との連携

保護者との連携については、当法人のホームページを利用して、ステージ毎の計画と活動実績を毎回掲載するとともに、塾生手帳を用いた保護者とのコミュニケーションを継続して実施しました。

事業の実施概況は以下に記します。

【事業の実施概況】

実施計画	日程	実施内容																														
塾生の構成 (参加者の内訳)		<p>(1)学年構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>10</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>小学4年</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)地域構成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福岡県</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>佐賀県</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	学 年	男子	女子	中学生	1	5	小学6年	4	5	小学5年	10	7	小学4年	3	2	計	18	19	学 年	男子	女子	福岡県	9	12	佐賀県	9	7	計	18	19
学 年	男子	女子																														
中学生	1	5																														
小学6年	4	5																														
小学5年	10	7																														
小学4年	3	2																														
計	18	19																														
学 年	男子	女子																														
福岡県	9	12																														
佐賀県	9	7																														
計	18	19																														
(1)農業体験活動	<p>男子 4月3日～ 10月30日</p> <p>女子 4月10日～ 11月6日</p>	<p>主な農業体験活動</p> <p>① 米づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種籾の塩水選 ・温湯消毒 ・播種 ・代かき ・田植え ・稲刈り ・結束 ・掛け干し ・脱穀 ・唐箕選 ・わら縛り <p>② チーム農園での野菜づくり (農作業の基礎を学ぶ・チームワークを活かす)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前作、後作の作付け計画 ・畑の土づくり ・畝上げ ・播種 ・定植 ・芽欠き、間引き ・土寄せ ・追肥 ・除草、水やり ・支柱立て、誘引 ・鳥獣対策 ・収穫 <p>(さつま芋、トマト、きゅうり、なす、かぼちゃ、ジャガイモ、里芋、おくら等) 各チーム 約 20 種類を栽培</p>																														
(2)自然体験活動	<p>男子 4月3日～ 10月30日</p> <p>女子 4月10日～ 11月6日</p>	<p>主な活動内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>ヤマメの放流(女子)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>泥んこ運動会、坐禅体験</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>コロナ感染予防のため、活動中止</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>コロナ感染予防のため、活動中止</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>リバートレッキング</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>地域探索・餅つき(男子)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>紅葉ライトアップ点灯式合唱、餅つき(女子)</td> </tr> </tbody> </table>	4月	ヤマメの放流(女子)	6月	泥んこ運動会、坐禅体験	7月	コロナ感染予防のため、活動中止	8月	コロナ感染予防のため、活動中止	9月	リバートレッキング	10月	地域探索・餅つき(男子)	11月	紅葉ライトアップ点灯式合唱、餅つき(女子)																
4月	ヤマメの放流(女子)																															
6月	泥んこ運動会、坐禅体験																															
7月	コロナ感染予防のため、活動中止																															
8月	コロナ感染予防のため、活動中止																															
9月	リバートレッキング																															
10月	地域探索・餅つき(男子)																															
11月	紅葉ライトアップ点灯式合唱、餅つき(女子)																															

<p>(3) 宿泊を伴う共同生活 (1泊2日)</p>	<p>男子 6月4～5日 7月2～3日 10月29～30日</p> <p>女子 6月11～12日 10月8～9日 11月5～6日</p>	<p>「自主・自立・自律」を身につけさせる</p> <p>① 共同生活の根幹となる基本作業をできるまで何度も実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事 ・整理整頓 ・あと片付け ・食事のとり方 ・箸の使い方 ・姿勢 ・床の拭き掃除 ・トイレ掃除 ・入浴の仕方 ・布団の準備、片付け 等 <p>② 昔ながらの炊飯体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米とぎ ・釜飯炊き(日曜の朝) ・羽釜洗い <p>③ 助け合うこと、協力することを体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム活動 ・歌の合唱 ・キャンドルサービス 																																												
<p>(4) その他の事業</p> <p>① 同窓会卒塾生のボランティア参加</p> <p>② 主要支援企業による活動援助</p>	<p>男子 4月3日～ 10月30日</p> <p>女子 4月10日～ 11月6日</p>	<p>① 卒塾生のボランティア参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1ステージ(4月3日)から、7～14期生が日帰りで活動に参加 ・58名が参加(男子24名、女子34名) <p>② 支援企業による活動援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援企業のリコージャパン株式会社の社員23名およびコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の社員9名が泥んこ運動会・田植え・稲刈り・脱穀・餅つきに参加。 																																												
<p>(5) 会員の状況</p>	<p>令和4年 12月末現在</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">法人</th> <th colspan="2">前年比</th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">前年比</th> </tr> <tr> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>47</td> <td>171</td> <td>▲6</td> <td>▲14</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>▲1</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>+1</td> <td>+1</td> <td>31</td> <td>91</td> <td>▲5</td> <td>▲7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>178</td> <td>▲5</td> <td>▲13</td> <td>52</td> <td>119</td> <td>▲6</td> <td>▲8</td> </tr> </tbody> </table>		法人		前年比		個人		前年比		社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数	正会員	47	171	▲6	▲14	21	28	▲1	▲1	賛助会員	4	7	+1	+1	31	91	▲5	▲7	計	51	178	▲5	▲13	52	119	▲6	▲8
	法人			前年比		個人		前年比																																						
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数																																						
正会員	47	171	▲6	▲14	21	28	▲1	▲1																																						
賛助会員	4	7	+1	+1	31	91	▲5	▲7																																						
計	51	178	▲5	▲13	52	119	▲6	▲8																																						

〈第1号議案〉 令和4年度 事業報告および決算報告の件 ②

活動計算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員		
法人会員	5,130,000	
個人会員	84,000	
賛助会員		
法人会員	35,000	
個人会員	136,500	5,385,500
2. 受取寄付金		25,628,900
受取寄付金		25,628,900
3. 受取補助金		50,000
受取補助金		50,000
4. その他収益		
受取利息	261	
雑収益	35,816	36,077
経常収益計		31,100,477
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,505,046	
賃金	770,054	
法定福利費	1,402,568	
人件費計	12,677,668	
(2) その他経費		
教材費	184,821	
器具備品費	500,000	
燃料費	70,269	
図書資料費	39,108	
保健衛生費	50,312	
食材費	225,797	
旅費交通費	107,300	
通信運搬費	680,339	
消耗品費	406,093	
水道光熱費	1,055,917	
賃借料	1,303,853	
印刷製本費	719,460	
修繕費	30,525	
保険料	13,024	
教育研修費	9,820	
20周年記念費	521,500	
その他経費計	5,918,138	
事業費計		18,595,806
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,499,938	
法定福利費	313,339	
人件費計	2,813,277	
(2) その他経費		
旅費交通費	116,694	
福利厚生費	1,665,989	
通信運搬費	64,398	
消耗品費	121,070	
水道光熱費	263,978	
賃借料	334,752	
会議費	2,798	
渉外費	5,000	
修繕費	125,290	
支払手数料	136,589	
保守費	1,691,110	
教育研修費	4,000	
雑費	207,902	
その他経費計	4,739,570	
管理費計		7,552,847
経常費計		26,148,653
当期正味財産増減額		4,951,824
前期繰越正味財産額		14,983,636
次期繰越正味財産額		19,935,460

貸 借 対 照 表

令和4年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	73,923		
普通預金	21,517,854		
未収金	284,969		
仮払金	17,000		
流動資産合計		21,893,746	
2. 固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			21,893,747
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,547,299		
預り金	410,987		
流動負債合計		1,958,286	
負債合計			1,958,286
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		14,983,636	
当期正味財産増減額		4,951,824	
正味財産合計			19,935,460
負債及び正味財産合計			21,893,746

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	399,000	-	-	399,000	398,999	1
投資その他の資産						
周年記念積立預金	5,000,000	-	5,000,000	-	-	-
合計	5,399,000	-	5,000,000	399,000	398,999	1

財 産 目 録

令和4年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	73,923		
普通預金			
西日本シティ銀行 1107615	15,888,793		
西日本シティ銀行 3006184	3,824		
福岡銀行	4,527,020		
佐賀銀行	1,098,217		
未収金	284,969		
仮払金	17,000		
流動資産合計		21,893,746	
固定資産			
器具備品	1		
固定資産合計			1
資産の部合計			21,893,747
負債の部			
流動負債			
未払金	1,547,299		
預り金			
源泉税	28,541		
社会保険	358,046		
住民税	24,400		
流動負債合計		1,958,286	
負債の部合計			1,958,286
正味財産			19,935,461

監 査 報 告

令和4年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和5年2月21日

監 事 野 口 貴 司



令和5年度 事業計画書(案)

1. 事業計画策定にあたって

コロナウィルスの感染拡大から3年が経過し、少しずつではあるが規制緩和が進んでいる状況です。「自然塾九州」の活動も感染防止を第一としたうえで、従来の活動に近いものに戻し本来の子供たちの健全育成をより高める内容を目指します。

改めて、以下の基本理念および指導方針に基づいた内容を具体的に実行していく計画です。

「基本理念」

『生きる力を大地から学ぶ』

自然の助けを借りながら
共に考え、知恵を働かせ
自らの汗を流し
自らが成長する

「指導方針」

- ① 生活面の心得や作業方法などの基本的事項ならび安全作業や危険行為などの重要事項は指導するが、基本は体験を通して自らが気づき、学びにつなげる。
- ② 「指示しすぎず」「命令しすぎず」「教えしすぎず」「世話をやきすぎず」を基本姿勢として、自主性を引き出し、自らの行動につなげる。

2. 事業計画策定方針

- ・日帰り活動を基本とし、全15ステージ中6ステージを一泊二日の宿泊とする。
- ・活動内容の充実を図ることを目的に、日帰りステージ前日にリモートによるミーティングを実施する。
(活動時間を有効に使う)
- ・コロナの影響で中止していた「九千部山登山」「早朝日の出拝観」「姿勢の話」「森林保全活動」等の自然体験活動を復活させ、自然に触れる時間を増やす。
- ・また、昨年は限られた回数のみしかできなかった「釜めし炊き」を毎ステージ実施し、先人の知恵を学ぶ。
- ・コロナ対策を万全にし、全ステージ達成を目標にする。
「感染対策マニュアル」の見直し、強化
陽性者および濃厚接触者の自宅待機期間を明確にする
ステージ休止、再開の基準を見直す
保護者による送迎の検討をする 等
- ・自然塾の安定的な継続を図るため、
 - ① 会員の拡充
 - ② ふるさと納税の拡大
 - ③ 経費の圧縮等を行う。

3. ステージ運営に関する活動

(1) 事業内容

- ① 農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培/チーム農園・共同農園・水田
- ② 自然体験活動 リバートレッキング、地域探索、坐禅会、日の出拝観、九千部山登山 等
- ③ 共同生活 挨拶、清掃、整理整頓、食事マナー、釜めし炊き、歌の合唱、姿勢の話 等
- ④ ボランティア活動 塾舎周辺の清掃活動、森林保全活動への参加
- ⑤ 宿泊活動 一泊二日の宿泊ステージを男女共6回実施
- ⑥ 事前学習活動 日帰り活動の前日にリモートによる事前学習会を開催し、本ステージに備える

(2) 対象者

一般公募した小学4年生から中学2年生までの児童生徒 男子18名・女子18名 計36名

(1) 学年構成			(2) 地域構成		
学 年	男子	女子	学 年	男子	女子
中学生	3	4	福岡県	12	5
小学6年	9	5	佐賀県	6	13
小学5年	4	5	計	18	18
小学4年	2	4			
計	18	18			

(3) 活動の期間

- ① 入塾式 3月5日(日) 男子:午前 女子:午後
- ② 男子活動期間 3月19日(日)～10月15日(日)
- ③ 女子活動期間 3月26日(日)～10月22日(日)
- ④ 卒塾式 10月29日(日) 男子:午前 女子:午後
- ⑤ 大山祇神社ライトアップ時の合唱 11月11日(土) 男女:17:30～

(4) 従事者の状況

常勤 6名 企業から出向者(1名)・契約社員(3名)・アルバイト(2名)
 非常勤 3名 調理スタッフ(1名)・看護師(1名)・活動補助(1名)

(5) その他の活動

- ① 鳥栖市「少年少女自然体験事業」の開催(第19回)
 - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業を自然塾九州が運営協力を行う
 - ・リバートレッキング等の自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性、協調性を高めることを目的とした鳥栖市教育委員会(生涯学習課)の活動を支援する
 - ・鳥栖市内の小学生を対象に一泊二日の自然体験活動
 - ・開催日:夏休み期間中の7月25～26日を予定(但し、コロナ感染状況次第では開催を中止)
- ② 「やまもの会」総会の開催(第18回)
 - ・卒塾生の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことを目的とする
 - ・開催日:男子8月10日・女子8月11日を予定(但し、コロナ感染状況次第では開催中止)

4. その他

① 安定的な収入の確保

安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう会員拡大、退会者抑止や「ふるさと納税」の継続、拡大を行う。また、企業や各団体が集まる場を利用して広く自然塾活動の内容や意義を知ってもらう。

具体的には「ふるさと納税」「会員募集」「寄付金」等の募集パンフレットを卒塾生、保護者、塾関係者、会員企業等に届け、新規寄付先の拡大、増額を目指す。

また、企業、団体等の会合に出向き塾の必要性を知ってもらい会員の拡大を図る。

② 応募者の確保、拡大

一昨年はコロナ禍の影響で定員を減すことで意図的に人数制限し、定員の範囲内の募集とした。しかし、昨年は各教育委員会の後援を受け募集を行ったにも関わらず、男子は定員以上の応募であったのに対し、女子の応募者は定員ぎりぎりの状況であった。

そこで、今後の塾生募集については

- ・募集先を学校関係以外の支援企業や会員等にも広げる
- ・HPの有効的な利用を検討する
- ・地域のマスメディア(TV・ラジオ等)を利用した広報活動を行う

等の対応策を検討し、広く募集を募りたい。

【参考】応募者数の推移

令和1年	76名 (男子36名 女子36名)	対前年比
令和2年	83名 (男子38名 女子45名)	+ 7名
令和3年	59名 (男子30名 女子29名)	▲24名
令和4年	38名 (男子19名 女子19名)	▲21名
令和5年	48名 (男子30名 女子19名)	+ 10名

③ ボランティアの確保

本年度も塾生の安全確保の面からボランティアの支援は必要なものとなっている。

そこで昨年につき、主に卒塾生主体(やまももの会)のボランティアを募集する。

ただし、塾運営の最低限の知識を持ってもらうため、塾活動開始前に説明会を兼ねた勉強会を開催し、安全対策、塾生に対する姿勢、農業知識等を周知する。

また、人数を多く必要とする活動(田植え、稲刈り等)時には理事企業の社員を中心としたボランティアを依頼し、塾生の安全を確保したい。

〈第2号議案〉 令和5年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和5年度 活動予算書(案)

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費	5,476	〈正会員〉 法人 30,000円×174口 個人 3,000円×28口
2. 受取寄付金	24,270	〈賛助会員〉 法人 5,000円×7口 個人 1,500円×91口 株式会社リコー 10,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 4,500 三愛オプリー株式会社 3,000 ふるさと納税 2,800 公益財団法人市村清新技术開発財団 2,500
3. その他収益	34	受取利息 1 中山間地農業補助 他 34
経常収益計	29,780	
II 経常費用		
1. 事業費	19,812	
給料手当		職員給与 11,506
賃金		調理師、看護師の人材派遣費用 1,361
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 1,332
教材費		種・苗・堆肥 等の活動教材 319
燃料費		塾保有車ガソリン代・農機具燃料費 75
図書資料費		書籍・新聞購読料 等 40
保健衛生費		日用品、医薬品 等 63
食材費		活動時における食事の食材費用 475
旅費交通費		塾生送迎交通費、業務上の交通費 等 155
通信運搬費		電話料金、郵送費、宅配費 等 712
消耗品費		事務用消耗品、厨房関係消耗品 等 350
水道光熱費		電気、ガス料金 1,058
賃借料		車両、寝具リース、農地、機械借用料 等 1,547
印刷製本費		コピー代、塾生手帳、塾生募集パンフレット 等 745
修繕費		活動用機器の修繕費 30
保険料		看護師、ボランティア参加時の保険 等 30
教育研修費		外部研修参加費 14
2. 管理費	8,703	
給料手当		職員給与 3,444
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 474
旅費交通費		出張旅費、交通費 105
福利厚生費		単身職員借上寮、定期健康診断料 等 1,550
通信運搬費		電話、携帯電話、切手 等 68
消耗品費		事務用消耗品 等 20
水道光熱費		電気、ガス料金 265
賃借料		パソコンリース、車両リース 等 440
会議費		会議時の飲食費用 50
渉外費		地域協力のための会費、慶弔費用 等 70
修繕費		設備機器の修繕費用 113
租税公課		収入印紙 等 3
支払手数料		振込手数料・残高証明 等 168
保守費		警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等 1,702
雑費		会計サポート、玉串料 他 231
当期正味財産増減額	1,265	
前期繰越正味財産額	19,935	
次期繰越正味財産額	21,200	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：千円)

科 目	令和5年 予算(案)	令和4年 実績	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員				
法人会員	5,220	5,130	90	
個人会員	84	84	-	
賛助会員				
法人会員	35	35	-	
個人会員	136	136	-	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	24,270	25,628	△ 1,358	
3. 受取補助金				
受取補助金	-	50	△ 50	
4. その他収益				
受取利息	1	1	-	
雑収益	34	36	2	
経常収益計	29,780	31,100	△ 1,320	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	11,506	10,505	1,001	スタッフ欠員補充による増(6月採用予定)
賃金	1,361	770	591	ステージ数変更による調理師費用の増
法定福利費	1,332	1,403	△ 71	
人件費計	14,199	12,678	1,521	
(2) その他経費				
教材費	319	185	134	ステージ数変更による増
器具備品費	-	500	△ 500	前年度プロジェクト交換の影響
燃料費	75	70	5	
図書資料費	40	39	1	
保健衛生費	63	50	13	
食材費	475	226	249	ステージ数変更による食材の増
旅費交通費	155	107	48	
通信運搬費	712	680	32	
消耗品費	350	406	△ 56	
水道光熱費	1,058	1,056	2	
賃借料	1,547	1,304	243	宿泊ステージ数変更による布団リースの増
印刷製本費	745	719	26	
修繕費	30	31	△ 1	
保険料	30	13	17	
教育研修費	14	10	4	
20周年記念費	-	522	△ 522	
その他経費計	5,613	5,918	△ 305	
事業費計	19,812	18,596	1,216	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	3,444	2,500	944	業務体制見直しによる費用振分の変更
法定福利費	474	313	161	"
人件費計	3,918	2,813	1,105	
(2) その他経費				
旅費交通費	105	117	△ 12	
福利厚生費	1,550	1,666	△ 116	
通信運搬費	68	64	4	
消耗品費	20	121	△ 101	前年度消火器交換の影響
水道光熱費	265	264	1	
賃借料	440	335	105	スタッフ欠員補充によるパソコンリースの増
会議費	50	3	47	
渉外費	70	5	65	
修繕費	113	125	△ 12	
支払手数料	168	137	31	
租税公課	3	-	3	
保守費	1,702	1,691	11	
教育研修費	-	4	△ 4	
雑費	231	208	23	
その他経費計	4,785	4,740	26	
管理費計	8,703	7,553	1,131	
経常経費計	28,515	26,149	2,366	
当期正味財産増減額	1,265	4,951	△ 3,686	
前期繰越正味財産額	19,935	14,984	4,951	
次期繰越正味財産額	21,200	19,935	1,265	

〈第3号議案〉 理事および監事選任の件

令和5年度
 理事 および 監事(新体制案)
 任期 令和5年3月16日から令和7年3月15日

理 事

	氏 名	備 考	
代表理事	柴田 暢雄		再任
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長	再任
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 マーケティング本部 九州地域担当 マーケティング本部 福岡支社長	再任
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長	再任
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務	再任
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部兼プロフェッショナルサービス部 ESGセンター 所長	再任
理事	大久保 宏次	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長	再任
理事	八田 聡子	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長	再任

監 事

	氏 名	備 考	
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長	再任

定款より

第4章 役員および職員
 (種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

令和4年度
理事 および 監事(現体制)

理 事

	氏 名	備 考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 マーケティング本部 九州地域担当 マーケティング本部 福岡支社長
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部兼プロフェッショナルサービス部 ESGセンター 所長
理事	大久保 宏次	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長
理事	八田 聡子	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長

監 事

	氏 名	備 考
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長

以上